

奈井江町「人口ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(案)の全体像

奈井江町人口ビジョン (中長期展望～2060年まで)

〈現 状〉

- 2010年の人口が6,194人から2060年に1,752人まで減少(社人研推計)
- 合計特殊出生率が1.15で全国・全道平均より低い
- 直近5か年平均で約54人の転出超過が続いている

〈目指すべき基本的な方向〉

- ①若者世代の雇用創出と定住促進
- ②すこやかに産み・育て、安心して子育て・教育ができる生活環境の整備
- ③地域資源を活かしたまちづくりと時代にあった地域社会の形成

〈2060年人口の将来展望〉

- 合計特殊出生率を段階的に上昇させ、2040年に1.8(国民希望出生率)、2060年に2.07(人口置換水準)を目指す
- 段階的に転出超過を改善させ、2040年に社会移動の均衡を目指す(転入者数=転出者数)

2060年の人口を社人研推計の1,752人から2,550人に増加させる(+798人)

2060年人口の将来展望の実現のために総合戦略による施策を展開

奈井江町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (平成27年～31年度の5か年)

基本目標 1 新たな活力を生み出す「しごと」づくりを目指す

〔数値目標〕 若者の雇用創出数 36人(H27～H31平均)

〔基本的方向及び具体的施策〕

- (1) ともに支えあい、いきいきとした就労の場をつくる
 - 奈井江町障がい者短期就労パワーアップ事業
 - 地域おこし協力隊活用事業
- (2) 次世代につながる強い農業づくりを推進する
 - 良食味米の安定生産と生産体制の強化
 - 特別栽培米(減農薬栽培米)の取り組み推進
 - 農産物販路拡大の推進
 - 農業後継者や法人化の促進
 - 6次産業化・特産品の開発等の検討
- (3) 立地企業への支援や企業誘致を推進する
 - 中小企業振興保証融資や相談支援
 - 新規立地企業や事業拡大に対する企業支援
 - 空知団地を中心とした企業誘致の推進
 - 遊休公共施設を活用した企業誘致の推進

〔重要業績評価指標(KPI)〕 障がい者雇用に対する助成件数 1件、地域おこし協力隊員数 2人、良食味米の出荷量 1440t、特別栽培米作付面積 500ha、農業生産法人化件数 19件、新規保証融資件数 10件

基本目標 2 奈井江町に新たな「ひと」の流れをつくる

〔数値目標〕 転入者数 166人

〔基本的方向及び具体的施策〕

- (1) 奈井江町への移住・定住対策を推進する
 - 民間賃貸住宅の家賃助成、新築・中古住宅購入助成、移住・定住PR事業
 - 移住体験住宅の設置、お試し移住事業
 - ホームページのリニューアル、SNSを活用した情報発信の強化、ふるさと納税制度の活用
 - 奈井江版CCRC(生涯活躍のまち)構想の推進
- (2) 活気のあるイベントの開催を推進する
 - コンサート等の開催
- (3) 独身者の出会いのきっかけづくりを推進する
 - 結婚活動事業の開催、結婚活動希望者に対する情報発信
- (4) 中心市街地の活性化を推進する
 - 多機能型交流施設整備への支援
 - 多機能型交流施設を拠点とした町・農協・商工会連携事業の展開
 - 交流プラザみなクルや文化ホールとの連携事業

〔重要業績評価指標(KPI)〕 民間賃貸住宅家賃助成件数 35件、新築・中古住宅購入助成件数 65件、サービス付き高齢者向け住宅への移住者数 26人、コンシェルジュ利用人数 1,600人、結婚活動事業参加者の婚姻件数 2組、中心市街地歩行通行量 630人/日

基本目標 3 安心して子育てができる「まち」づくりを目指す

〔数値目標〕 合計特殊出生率 1.37(H25～H29)

〔基本的方向及び具体的施策〕

- (1) 健やかに産み育てる環境・体制整備を充実させる
 - 第3子認定子ども園保育料、第3子学童保育利用料の無料化
 - 子ども医療費助成(高校生まで全額助成等)
 - 不妊治療費負担軽減事業
 - 5歳児相談の実施、親子クッキング教室、つくしんぼ交流会
 - 小児期の健康診断や相談体制の充実(すこやか健診等)
 - 予防接種事業の助成拡充(おたふく、ロタウィルス)
- (2) 特色ある学校教育の充実と基礎・基本の定着を図る
 - 保(幼)・小・中・高の密接な連携による教育活動の実施
 - 小学校全学年での35人学級編成
 - 小学生低学年を対象とした英会話教室
 - 英語検定・漢字検定受験料の助成
 - 奈井江商業高等学校の入学者や在校生への支援
 - 教員退職者などを活用した放課後学習指導の実施

〔重要業績評価指標(KPI)〕 認定子ども園待機児童数 0人、不妊治療費助成件数 6件、英語検定合格率(中学校)80%、漢字検定合格率(小学校)80%(中学校)80%、奈井江商業高校入学者数 40人

基本目標 4 健康で安心な暮らしを守り、生きがいのある「まち」づくりを目指す

〔数値目標〕 転出者数 190人

〔基本的方向及び具体的施策〕

- (1) 一人ひとりの健康づくりに対する支援を充実させる
 - 健康づくりの推進
- (2) 安心して生活できる基盤整備を推進する
 - 医療、介護サービスの推進、高齢者見守り体制の充実
- (3) 町民のコミュニティ形成を推進する
 - コミュニティカフェ運営事業
 - 地域公共交通の利用促進
- (4) 地域連携による経済・生活圏の形成を推進する
 - 自治体広域連携の推進
- (5) 住民と一体となった防災・救急体制の充実を図る
 - 消防庁舎・車両整備事業、消防団の充実・強化
- (6) ストックマネジメントの強化を図る
 - 公共施設の維持管理適正化の推進
- (7) 医療・介護と住まいの一体的な環境を整備する
 - 奈井江版CCRC(生涯活躍のまち)構想の推進[再掲]

〔重要業績評価指標(KPI)〕 健康だと思える人の割合 85%、認知症サポーター養成者数 500人、コミュニティカフェの設置 1か所、広域的取組 11事業、消防団員数 55名、公共施設総合管理計画策定、サービス付き高齢者向け住宅の整備 1ヶ所

重要戦略 ① 重要戦略 ②
奈井江版CCRC生涯活躍のまち)構想戦略
町外通勤者等をターゲットにした移住・定住戦略